

# 2019年度 教育懇談会

～ 豊岡の教育の現状と課題について考える ～

※ 2019年7月18日～8月8日に市内全7会場で  
開催した教育懇談会の資料を元に追加・再編  
したものです。

豊岡市教育委員会



## 目 次

1. 国の教育方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
2. 市の取組（とよおか教育プランの取組）・・・ P 5
3. 豊岡市の人口動向について・・・・・・・・・・ P11
4. 少子化による学級編制の状況・・・・・・・・・・ P15
5. 幼稚園・保育園、小学校の統合等に向けた  
動きについて・・・・・・・・・・・・・・・・ P29

# 国の教育方針

# 国の教育方針

何を学ぶのか

【主な改善内容】

特別の教科「道徳」

外国語教育の充実

プログラミング教育

など

どのように学ぶのか

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

何を理解したか、  
何ができるようになったか



理解したことや  
できるようになったことを  
どう使うか

# 市の取組

## (とよおか教育プランの取組)

# 市の取組（とよおか教育プランの取組）

## 第3次「とよおか教育プラン」（2015～2019年度）

### □基本理念

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成

### □基本姿勢

子どもの事実に基づき、子どもに寄り添うこと

## 豊岡市小中一貫教育

ローカル＆グローバル学習の時間

ふるさと  
教育

英語教育

コミュニケーション  
教育

子どもたちの夢実現力を高め、  
小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子の育成

## ふるさと教育

コウノトリって、  
どんな特徴があるのかな





## ふるさと教育



ジオサイトを見学して、  
地形や岩石について  
説明を聞きました。

# 市の取組（とよおか教育プランの取組）

NEW

第4次「とよおか教育プラン（案）」（2020～2024年度）では…

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成

～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

## 基本方針

### 1 「生きる力」を育む教育の推進

### 2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

【集団の中で高めたい非認知能力】

やりぬく力：夢や目標を持ち、あきらめずに努力し続け粘り強く取り組むこと

自 制 心：自分自身の感情、欲求などをコントロールすること

協 働 性：他者と目標を共有し、合意形成を図りながら力をあわせて活動すること

非認知能力：IQや学力テスト等の数値では表しにくい内面の力であり、保育、教育活動等を通して、  
繰り返し取り組むことで育つ力（やり抜く力・自制心・協働性 等）

# 豊岡市の人口動向について

- ・ 豊岡市人口ビジョン資料
  - ・ 住民基本台帳
- 等から

## 豊岡市人口ビジョン



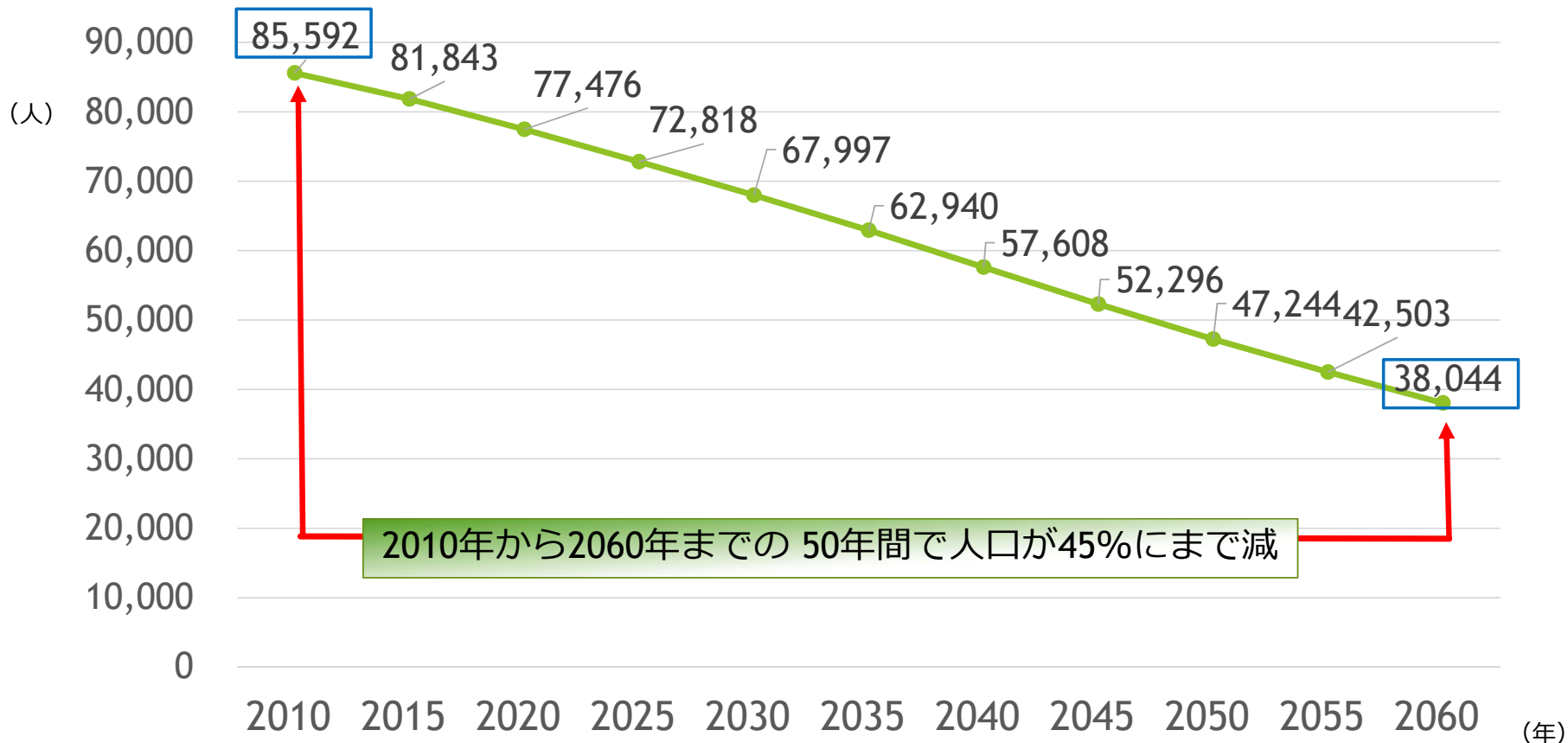
平成 27 年 10 月 30 日

兵庫県豊岡市

## 豊岡市の総人口の推移と将来推計

豊岡市人口ビジョンより

総人口の推計と将来推計（2010～2060年）

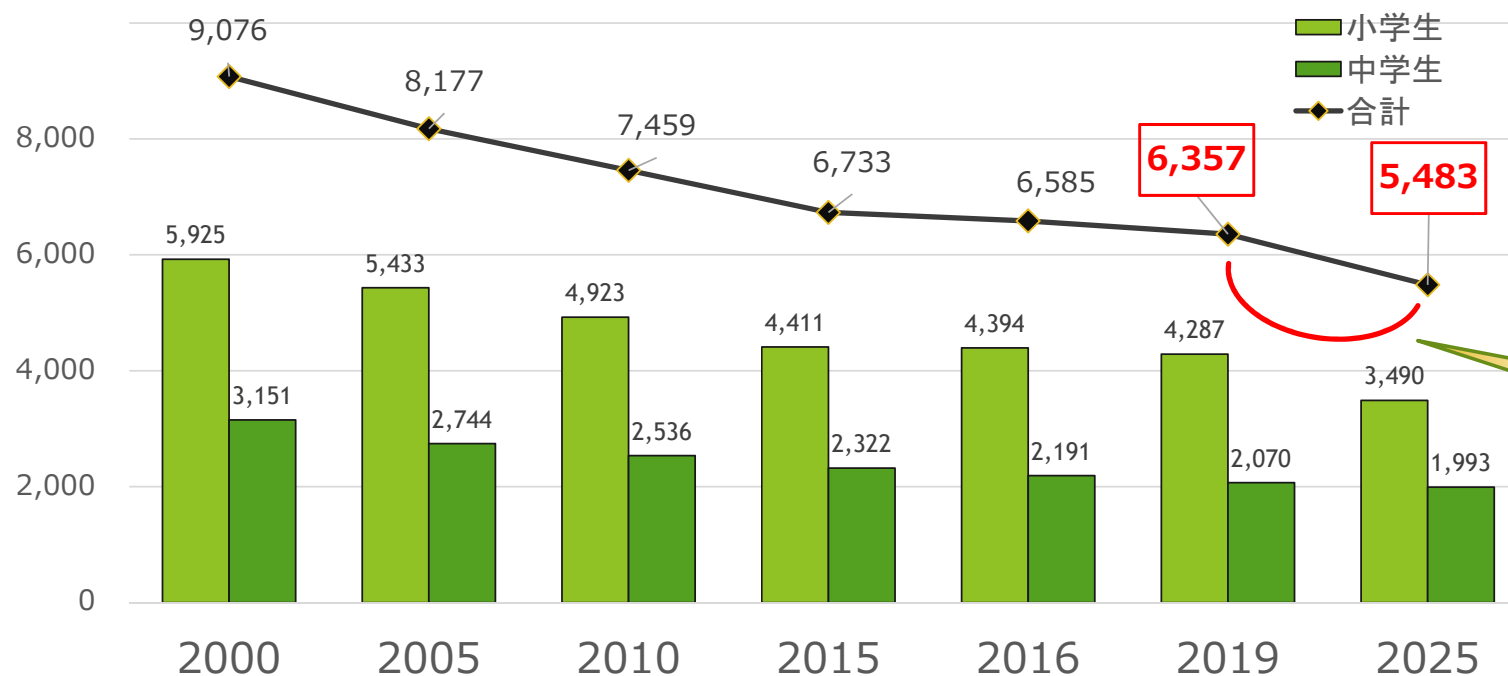


（出典）2010年は総務省統計局「国勢調査」、2015年度以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシートによる作成した本市基準推計

# 児童・生徒数の推移（2019年5月1日現在）

兵庫県教育委員会 統計資料（2019年5月1日現在）より

(人)



2000年と2025年を比較すると

- ・小学生は2,435人の減
- ・中学生は1,158人の減
- ・合計 3,593人の減

2019年と2025年の6年間だけでも 874人の減

(年度)

区分/年	2000	2005	2010	2015	2016	2019	2025
小学生	5,925	5,433	4,923	4,411	4,394	4,287	3,490
中学生※	3,151	2,744	2,536	2,322	2,191	2,070	1,993
合計	9,076	8,177	7,459	6,733	6,585	6,357	5,483

※ 中学生は、豊岡市立の中学校に通う生徒。  
2025年度分は、豊岡市住民基本台帳（2019年4月8日現在）を基準とし、うち、中学生は2019年度の市立中学校への就学率をもとに推計したもの。

# 各地域の各学校別学年人数と 今後の見込み

## 別紙 資料 3－3、3－4 参照

兵庫県教育委員会 統計資料（2019年5月1日現在）  
豊岡市住民基本台帳（2019年4月8日現在）

# 少子化による学級編制の状況

## 学級編制の仕組み

### ○公立学校の学級編制（複式学級）基準（兵庫県の基準）

項 目	小 学 校
複式学級	1 4 人 (第 1 学年を含む場合は、8 人)

### ○適正規模の基準

法令上、学校規模の標準は学級数より設定されており、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされています。

⇒ 19学級以上の学校 = 大規模校

⇒ 11学級以下の学校 = 小規模校 となります



## 小規模校の状況と今後の見込み

### ◆豊岡市

2019年5月現在

小学校 29校のうち、

標準規模校 3校(豊岡小、八条小、日高小)

大規模校 1校(五荘小(21学級))

小規模校 25校

- ①奈佐小 (36人)
- ②港東小 (48人)
- ③港西小 (45人)
- ④中竹野小 (23人)
- ⑤竹野南小 (25人)
- ⑥八代小 (36人)
- ⑦寺坂小 (30人)
- ⑧高橋小 (29人)

小規模校のうち、児童数50人以下の学校 8校



6年後(2025年)には・・・

**10校に!?**

⑨静修小、⑩小野小 が加わる・・・?

## 複式学級の状況と今後の見込み

### ◆豊岡市

小学校 29校のうち、  
学級編制基準の上では複式学級となる学校  
9校(31%)

2019年5月現在

- ①奈佐小
- ②港東小
- ③港西小
- ④中竹野小
- ⑤竹野南小
- ⑥八代小
- ⑦静修小
- ⑧寺坂小
- ⑨高橋小



6年後（2025年）には・・・

**最大12校(41%)に!?**

⑩小野小、⑪合橋小、⑫資母小が加わる・・・？

# 地域別・学校別学年人数と 今後の見込み

## 別紙 資料 3－5 参照

兵庫県教育委員会 統計資料（2019年5月1日現在）  
豊岡市住民基本台帳（2019年4月8日現在）

## 複式学級での授業の様子

教室の前と後ろを使って  
2つの学年が別々に授  
業を行っています



## 複式学級での授業の様子



2年生

3年生

教室の前では、担任の先生と一緒に国語の学習に取り組んでいます。

教室の後ろでは、別の学年の子どもたちが国語の教科書の音読を行っています。

# 小規模校における メリットとデメリット（例）



少子化による学級編制の状況

小規模校のメリット・デメリット（例）

※学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成

## メリット

### 【学習面】

- 児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
- 学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。

### 【生活面】

- 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。
- 異学年間の縦の交流が生まれやすい。

### 【学校運営面・財政面】

- 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。
- 学校が一体となって活動しやすい。
- 施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。

### 【その他】

- 保護者や地域社会との連携が図りやすい。

少子化による学級編制の状況

小規模校のメリット・デメリット（例）

※学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成

## デメリット

### 【学習面】

- 集団の中で、**多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。**
- 1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。
- 運動会などの学校行事や音楽活動等の**集団教育活動に制約が生じやすい。**
- 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。
- 児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、**多様な学習・指導形態を取りにくい。**
- 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。



少子化による学級編制の状況

小規模校のメリット・デメリット（例）

※学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成

## デメリット

### 【生活面】

- クラス替えが困難なことなどから、**人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。**
- 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。
- 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。
- 組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。

### 【学校運営面・財政面】

- 教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行いにくい。
- 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。
- 教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。
- 子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。

### 【その他】

- PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

## 教育委員学習会での意見交換(2018年8月開催)

### 児童数50人程度以下の小学校長からの意見(課題)

- ◆保護者から人間関係を心配する声もある。保育園時からほぼ同じメンバーで育ってきているため、人間関係が固定化しやすい。生徒、児童だけではなく保護者も同じ。
- ◆小規模校では、一人ひとりに役割があり、活躍の場が多いが、大規模の中学校への入学後は、その機会が得られにくく、ギャップが大きい。
- ◆運動会や音楽活動等の集団で行う活動が成立しない。
- ◆集団の男女の比率に偏りが生じやすい。
- ◆多様な考えに触れる機会がない。

## 小規模校の課題軽減への市の取組

### 小小連携教育

- ・生活・学習集団の**小規模化による教育課題を軽減・緩和**するため複数の学校での合同で授業や行事を実施する。
- ・14小学校で6つの連携を実施

- 同じ中学校区の小学校と連携
- 合同で教科学習や行事を実施



1年 生活科合同授業

## 2019年度 小小連携教育実施校と主な実施内容

田鶴野小  
奈佐小

港東小  
港西小

竹野小  
中竹野小  
竹野南小

- ・コミュニケーション授業
  - ・自然学校、修学旅行、合同社会見学
  - ・合同生活科、作品交流
  - ・中学校体験
- など

八代小  
静修小

福住小  
寺坂小

合橋小  
高橋小  
資母小

※学校によって実施内容は  
異なります。

## 幼稚園・保育園、小学校の統合等に向けた動きについて

NEW

### ◆奈佐小学校が五荘小学校に統合（2021年4月統合予定）

2019年12月3日、奈佐地区区長会長、奈佐小学校PTA会長から、奈佐小学校を五荘小学校に統合を希望する旨の要望書が提出された。

2020年1月に統合準備委員会を設置、協議を開始している。

※その他の地域でも統合に向けた独自の動きあり

### ◆「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」

「豊岡市子ども・子育て会議」から、2019年9月13日に答申を受け、「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」の策定に向け、今後、地域説明会を開催する予定としている。